

令和4年度 利用者懇談会 於：聖ヶ丘図書館

日 時：令和4年12月10日（土） 午後2時から午後3時30分まで

場 所：ひじり館 聖ヶ丘コミュニティセンター

出席者：利用者：7人

図書館職員：7人

図書館長、中央図書館整備担当課長、企画運営係長、
聖ヶ丘図書館長、聖ヶ丘図書館職員、企画運営係担当（2名）

1. ボードゲーム体験（30分）

利用者7人、図書館職員2人で2種類のボードゲームを体験

2. 図書館について意見交換（55分）

内容（要旨）

- （1）図書館長挨拶
- （2）図書館について意見交換
- （3）閉会

（1）館長挨拶

図書館： 例年であれば初めに昨年度の実績等を説明しているが、今回は、時間がないため、多摩市の図書館の概要版を参考にさせていただければと思う。本日チラシで配布しているデジタルアーカイブについて、ご自宅のパソコンなどから多摩市史を調べることができるため、ぜひ利用していただきたい。また図書館本館の閉館、中央図書館の開館に向けて記念イベントを市民の皆さんと協働で開催したいと考えており、その企画案を募集している。1月4日まで募集しているので、ぜひ応募していただければと思う。そのほかに電子図書館サービスも行っているため、ぜひ利用していただきたい。ここからは順番にご意見をうかがっていきたい。

（2）図書館について意見交換

利用者： 聖ヶ丘図書館の地域資料コーナーの机が以前と変わっている。以前の机のほうが好き
らしい印象があるが、利用者から指摘を受けることはないのか。

図書館： 机を変えたわけではなく、机の組み合わせ方を変えている。コロナウイルス感染防

止のためアクリル板を設置するにあたり、大きい机だとうまく組み合わせられなかった。現在の形にレイアウト変更することで、座席数を増やして設置することができている。

利用者： 「多摩市立中央図書館管理運営方針」に書いてある基本サービスとは何を指すのか、また、「地域図書館」の役割に「地域サービスに特化」と書いてあるが、地域サービスの特化とは具体的に何を指すのか教えていただきたい。

図書館： 基本サービスである、本の貸出、返却、レファレンスなどの図書館としての基本的な図書館のサービスを指す。拠点館は地域館に比べて面積や蔵書数の規模が大きいいため、それに見合ったサービスを行っていききたい。また、地域サービスに特化と記載した理由は、基本サービスだけでなく、それぞれの地域に関係する機関にもサービスを提供していくことを指している。地域館の蔵書数を変える等のサービス変更は今のところ考えていないが、駅前拠点館は、例えば、永山図書館に多く置いていたレファレンス資料を少し中央図書館に寄せてくるため、蔵書、構成が変わる可能性がある。また、現在、本の所蔵館を固定化せず、返却された本はその図書館の書棚に並ぶように運用しているが、中央図書館の蔵書は固定化する予定としている。地域館も同じように固定化するのかどうか、今後、中央図書館を運営していく中でご意見をいただく形になると思う。本館再整備基本計画の検討委員会では固定化の意見が多かった。

利用者： 複本が多くあるよりは、本の種類が増えたほうが良いと思う。非固定化が望ましい。

利用者： 地域館が身近にあるのがありがたい。今、固定化の話が出たが、私も固定化ではなく流動的に本が回る非固定化のほうが良いと思う。また、先ほど図書館の閉館、開館記念イベント案の募集について説明があったが、地域館についても各館の特色を生かした企画やイベントを開催することはできないか。

利用者： 本の固定化について、私は固定化にしてもらえてよかったと思う。開館後、様子を見ながら検討する点も良い。また、私は日ごろから、ポピュラーな雑誌をもっと多く地域館に置いてほしいと思っている。中央図書館では雑誌コーナーもできて専門的な雑誌も多く置かれることになると思うが、生活につながっているような雑誌は地域館にこそ多く置いてほしい。雑誌が増えれば、図書館に行こうと思うきっかけになる。聖ヶ丘図書館は閉館中も雑誌を読めるようになっていて、そこはとてもいいと思うが、ロビーでも読めるような工夫をしてほしい。また、どの地域館にも東京新聞を置いてほしいと思う。また、聖ヶ丘図書館で折り紙や切り紙を入りに置いているのがとても気に入っている。

図書館： 聖ヶ丘図書館は掲示物や折り紙の作成などに力を入れている。また、ただ掲示するのではなく、作成する上で参考にした本も一緒に展示している。そのようなお言葉をいただけて嬉しい。新聞については、1紙増やすだけでも購読料がかなりの額になってしまうため、すぐ増やすことは難しい現状である。ご意見として承る。雑誌については置き方をこれから検討していきたいと考えている。

利用者： 図書館の利用について、先ほどあった折り紙の掲示のことに興味を持ってくると、子どもたちが図書館に行きたいなと思えるような雰囲気づくりをお願いしたい。また、本を探すときに作者と書名がわかっていなくても探せるような置き方の工夫をしてほしい。

図書館： 本の置き方について、中央図書館では基本的な分類に沿いながらも、親和性の高い分類をグループ化し、近くに配置するなど探しやすいようにする予定である。詳細が決まり次第、ご案内していく。子どものフロアについては、おはなし室や靴を脱いで本を読むスペースの設置や、子どもたちが本を取りやすいような書架にしていくことを検討している。ほかにも、紙芝居や布の絵本などの書架も整えていく。また、多摩中央公園の中にできることから、子どもたちが外で自然に触れ、調べたいと思ったときに図書館に入ってきてもらえるような雰囲気づくりもしていきたいと思っている。また、子どもたちが日常的に利用する地域館の児童書は今と変わらない蔵書数としていきたい。

利用者： 中央図書館までのアクセスについて、中央図書館に行く時、聖ヶ丘に住んでいる人の多くは車で行くことになると思う。今の本館は駐車場があるため問題ないが、中央図書館には障がい者用駐車場しかない。多摩センター周辺は千円以上買えば駐車場が3時間無料になるサービスを行っていることから、可能であれば連携してほしい。図書館を利用することで、駐車場が何時間か無料になるサービスなどを行えば、買い物のついでに図書館を利用する人が増えるのではないかな。

図書館： 永山図書館や永山公民館のあるベルブ永山駐車場では図書館・公民館利用者に対して駐車場の割引をしている。一方で、多摩センター地区では多くの有料駐輪場があるが、商業施設が独自の努力でお買上金額に応じて割引をしている。商業施設ではない図書館に来館するだけで駐車場が割引されてしまうと、商業施設の売上を落としてしまう要因になりかねない。また、市としても、図書館への来館をきっかけとして、ついでに街でお買い物をしていただくことで街の賑わいにもつなげたい。そのため、図書館で駐車場の割引を実施する予定はない。

利用者： 予算も職員の数も変わらずに、このままいくのは職員が疲弊してしまうのではな

いか。図書館の休館日や開館時間、閉館時間などの変更について、もう少し利用者の声を聞いたほうが良いのではないか。個人的には問題ないが、17時に閉館することで困る利用者が出てくるのではないかという懸念がある。また、聖ヶ丘図書館には旅行書をあまり置いていない印象がある。もう少し増やしてほしい。

図書館： 旅行書は図書館全体として多く買っていない。限られた予算の中でやりくりしているためすべてそろえるのは難しい。図書館で予約してもらうか、企画展示のような形で各館に回すなどの工夫をしていく必要がある。閉館時間については図書館で統計を取っているが、それを見るとどの館も16時から17時ぐらいまでがピークで、17時以降は利用者が減っていく傾向がある。

利用者： 実際に統計を取って、どのような傾向だったのかを教えていただけると納得できる。

利用者： 17時に閉まることをすでに周知しているからみんな17時に帰るのではないか。これがもし19時に閉まると周知していたら統計の結果は変わると思う。また、中央図書館の運営範囲を絞るなどして地域館の閉館時間を遅くしてほしい。土日に予定が入ってしまうと10時から17時の間に予約本を取りに行くのは難しい場合がある。

図書館： 遅い時間まで開館してほしいという声もあるが、アンケートの結果を見ると21時、22時頃までの開館はあまり望まれていない。周辺だと府中市が22時まで開館しているが、その時間帯の本の貸出は多くない。中央図書館開館後の利用状況を踏まえて検討していくが、遅くまで開館する予定は今のところ考えていない。

利用者： 全面開館の必要はないと思う。部分的に空いてほしい。

利用者： 最初に図書館の開館、閉館イベントを行うと話していたが、多摩市立図書館開館50周年を記念したイベントは行わないのか。図書館の方から開館50周年であることをもっと打ち出してほしい。図書館の開館、閉館イベントと結び付けて何か開館50周年を記念したイベントを行うのが良いのではないか。

図書館： 開館50周年記念のイベントについて、どのような形で行うか検討している。開館10周年のときは記念として「おしゃもじさま」を発行した。

利用者： 図書館の50周年は大きいことなので、図書館の方が積極的に打ち出してほしい。

利用者： 老人会や自治会等の広報や総会の議案等を地域資料として収集しているのか。また、

地域で活動している方が出している資料を収集しているのか。

図書館： 自治会等の総会の資料は収集していない。中央図書館開館に向けて、地域資料をどの範囲まで収集するかについては内部で検討している。現段階では多摩市地域の企業の社史について収集を考えている。

利用者： 老人会の活動記録や自治会員のニュース等はどこかで収集したほうが良いのではないか。自治会のことと言えば、年度ごとで役員が変わるため、文書の取り扱い方法が毎回変わる。貴重な体験が記載されている資料を誤って捨てられることが無いように、地域資料として取り扱ってもらいたい。また、どのような資料を収集しているのか利用者に知らせてほしい。

図書館： 自治会の総会等の資料は書店で流通しているものとは違うため収集が難しい。また、図書館では収集した資料は公開することが基本であるため個人名が分かる資料はその点を考えると難しい面がある。広報として発行している資料であれば、収集できるかもしれない。

(閉会)